

# HOPES

ホープス セカンド

2nd

この3月に「いたて希望の里学園」初の卒業生として学び舎を巣立った2人は双子の兄弟です。全村避難となったのは、草野幼稚園の年中児クラスの時。小学校6年間を仮設校舎で過ごし、中学校は村内の校舎に通いました。「多少の不便はあったけれど、楽しかった」「ずっと同級生と一緒で、最後まで

## ふるさと飯館村の「今」を伝えたい



学園では幸智さん(左)がバドミントン部で、幸人さん(右)が陸上部で部長を務めました。2人は福島市内の別々の高校に進学します。聖火リレー3日前に話を聞きました。

庄司 幸智<sup>ゆきりのり</sup>さん(草野)  
庄司 幸人<sup>ゆきひと</sup>さん(草野)



聖火リレー当日の様子。スタート前のミニセレブレーションにて。交流センター「ふれ愛館」に到着した幸智さん、幸人さんとサポートランナーの仲間達。

楽しく過ごせた」と2人。今はそれぞれの高校生活に期待をふくらませています。幸智さんが、東京2020オリンピック聖火リレーのランナーに、幸人さんがサポートランナーの1人選ばれました。しかし新型コロナウイルスの影響で、オリンピックは1年間の延期。今回も感染症対策が優先される中で、スタートとなりましたが、2人は堂々と、その舞台に立とうとしていました。「飯館村がこまめに復興したということ伝えたい」と幸智さん。幸人さんは「震災で失ったものの方が多いけれど、(皆さんに)『今』を楽しんでほしい」と話しました。大役を担い、想いを込めて、飯館の空の下、聖火を灯して駆け抜けます。村で暮らす祖父母も1年越しで2人の勇姿を楽しみに待っていたそうです。

### 〈編集後記〉

●今号をもって、広報から異動となりました。これまで関わってくださった全ての皆さんへ心からありがとうをお伝えします。多くの村民の皆さんと言葉を交わし、写真を撮り続け元気と笑顔をもたらしていました。次にお会いした時にはまたおしゃべりさせてください。村民の皆さんが主役の広報いたてを今後ともよろしく願っています。(木幡)

●新型コロナウイルスの影響が続く不安定な状況下でスタートした聖火リレー。その中で、それぞれの思いを持って聖火を掲げるランナーの皆さん。困難な時だからこそ、自分の声に、異なる声に、さまざまな立場の声に、耳を澄まさなくてはと感じます。対策の徹底に皆で協力し、聖火の軌跡が、関わる人の真心を未来に伝えるものになるよう心から願います。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。